

会 長 殿
理事・監事・運営委員 殿
各県自衛隊家族会会長 殿

家族会事 30号
R6. 07. 08
公益社団法人自衛隊家族会
事務局長 阿部 知己

令和 6年 7月「月報」

1 はじめに

令和6年度定期総会が終了し、翌日の「募集協力者会同」で募集・援護、家族支援協力等に係る中央施策の説明を受けました。参加された福岡自衛隊家族会副会長、各県会長をはじめとする方々は、最も新しい情報に触れることができ、また、家族会を代表して札幌、神奈川、兵庫の活動状況を内局・各幕の出席者に伝えることができ、互いに有益な内容であったと思います。

さて、募集協力強調期間が始まります。

各地で催されるサマーフレンドシップキャンペーンをはじめ、各自衛隊地方協力本部との連携により、より多くの適格者の獲得に頑張りましょう！

2 防衛省・自衛隊の活動

(1) 7月1日、自衛隊70周年にあたって木原防衛大臣が談話を発表しました。

「70年前の今日、防衛庁設置法と自衛隊法が施行され、防衛庁・自衛隊が誕生しました。これまで防衛省・自衛隊の活動にご理解とご協力を賜ってきた皆様に対し、防衛大臣として、心からの感謝を申し上げます。」と始まり、創成期から自衛隊の任務の拡大に触れ、今後の在り方について述べた談話は、防衛省ホームページ等で読めますのでご一読ください。

(2) 1／四半期は防衛交流が盛んでした。

統合幕僚長は、米インド太平洋軍司令官と2度にわたって会談し、統幕副長はシンガポールで日米豪比参謀総長級会談に参加。統幕長は来日したNATO国防大学上級課程学生に対し、インド太平洋地域の安全保障環境等をブリーフィングしました。

陸上幕僚長は、LANPAC（太平洋地上軍シンポジウム）参加の後、米国とのシニアレベルセミナーに出席。海上幕僚長は米海軍法務統監と会談。航空幕僚長は米国で開催された宇宙参謀長等会同及び連合宇宙作戦イニシアチブ参加国による将官級会議に参加した他、サザンジャッカルー24（日米豪）、人道支援・災害救援多国間訓練 MARARA2024、バリカタン24（米比）へのオブザーバー参加、米空軍との共同訓練の他、モンゴル能力構築支援等、同盟国・同志国との関係を深化させています。

(2) 去る4月20日の海上自衛隊所属のヘリコプター事故に係る葬送式が、6月22日、30日の両日、それぞれ大村航空基地（長崎県）、小松島航空基地（徳島県）で第22航空群司令を執行者として執り行われました。

自衛隊家族会増田会長の代理として、それぞれ前川長崎県家族会長、岩野徳島県家

族会長が列席、花を供し、8柱の御霊をお送りしました。

3 家族会の活動

(1) 令和6年度定期総会、表彰、理事会、意見交換会の開催（6月11日）

○ 定期総会：議長：鎌田宮城県家族会長

ア 議案

第1号議案：令和5年度事業報告

第2号議案：令和5年度収支計算書
及び「監査報告書」

第3号議案：令和7年度以降の分担金
算定要領の改定

第4号議案：役員改選

改選期にあたり、6名の理事が退任し、新たに5名の理事を選任

【全ての議案が可決されました。】

イ 報告

報告1：令和6年度事業計画

報告2：令和6年度分担金

報告3：令和6年度収支予算書

報告4：令和6年度資金調達及び
設備投資の見込み

報告5：令和5年度「自衛隊の活動支援基金」管理運営委員会報告

自衛隊の活動支援基金による令和5年度激励実績及び同年度末現在の支援基金の現況などを報告

報告6：「問い合わせ窓口」令和5年度を振り返って

令和2年度から開始した隊員及び家族（親等）からの問い合わせの件数、内容の分析、相談員の対応と結果、並びに総合所見などを報告

報告7：安否確認システム「あんぴくん」

○ 第2回理事会

ア 議案

第1号議案：代表理事の選任

増田好平理事を代表理事（会長）に選任

第2号議案：業務執行理事の選任

宮下、阿部、鍛冶、森山、田浦、荒木、高田、小泉各理事を
それぞれ、総括、総務・事業、広報、家族支援協力、基盤強化施策
（甲）、同（乙）、財務担当の業務執行理事に選任

第3号議案：副会長の選任：大宮、福岡、荒木、宮下各理事を副会長に選任

第4号議案：事務局長の承認：阿部理事を事務局長として承認



第5号議案：県自衛隊家族会長人事

兵庫、佐賀 各県家族会の選出に基づき、それぞれ、新会長を決議。(敬称略)

	退任会長	新任会長
兵庫県家族会長	(代行) 山岡 正喜	高木 清志
佐賀県家族会長	岩本 成泰	漆原 悦子

【全ての議案が可決されました。】

イ 報告：代表理事及び業務執行理事の報告：増田代表理事／会長 以下の各業務執行理事が実施した各業務をそれぞれ報告

○ 表彰

団体表彰として、栃木県、神奈川県、兵庫県等16県自衛隊家族会を表彰しました。
また、個人表彰として退任県家族会長などの4名を表彰し、それぞれ永年の労に感謝を表しました。

ア 団体表彰

○総合表彰

- *最優秀賞：栃木県自衛隊家族会
- *優秀賞：神奈川県自衛隊家族会
兵庫県自衛隊家族会

○活動表彰（以下○○県自衛隊家族会を○○県と略）

- *会勢拡大優秀賞：福井県、三重県
- *おやばと購読優秀賞：道央、大分県、道北、高知県、兵庫県
- *家族支援協力活動優秀賞：神奈川県
- *防衛講演会優秀賞：栃木県、和歌山県、長崎県
- *北方領土返還署名活動優秀賞：福岡県
- *募集協力活動優秀賞：宮城県、静岡県、石川県、熊本県
- *援護協力活動優秀賞：宮城県



イ 個人表彰

- *退任前鳥取県自衛隊家族会長：前田節夫 様
- *退任佐賀県自衛隊家族会長：岩本成泰 様
- *退任理事：入間川幸道 様
- *退任理事：川又 弘道 様

エ 意見交換会

木原防衛大臣をはじめとする御来賓の出席の下、意見交換会を開催しました。

増田会長の挨拶の後、木原防衛大臣、鬼木副大臣、高見補佐官から、それぞれお言葉をいただき、中谷顧問からの挨拶の後、統合幕僚長吉田陸将から活躍する女性の登用のお話の後に乾杯のご発声。懇談の間に佐藤顧問もお話ししてくださり、参加者は日頃お目にかかれない防衛省高官の方々との交流で中央のお話を伺い、また、現場の状況をお伝えする貴重な時間を過ごすことができました。

ご出席いただいた御来賓は次のとおりです。

防衛大臣	衆議院議員	木原 稔 様
防衛副大臣	衆議院議員	鬼木 誠 様
防衛大臣補佐官	衆議院議員	高見 康裕 様
防衛事務次官		増田 和夫 様
統合幕僚長		吉田 圭秀 陸将
陸上幕僚長		森下 泰臣 陸将
海上幕僚長		酒井 良 海将
航空幕僚長代理	航空幕僚副長	小笠原 卓人 空将
防衛省大臣官房長		中島 浩一郎 様
防衛省防衛政策局長		加野 幸司 様
防衛省人事教育局長		三貝 哲 様
自衛隊家族会顧問	衆議院議員	中谷 元 様
自衛隊家族会顧問	参議院議員	佐藤 正久 様
日本郷友連盟会長		森 勉 様
隊友会理事長		岩崎 茂 様
水交會理事長河野克俊様代理		村川 豊 様
防衛弘済會理事長		田原 義信 様
全国防衛協會連合會會長大宮英明様代理		湯浅 秀樹 様
朝雲新聞社代表取締役社長		中島 貴広 様
防衛ホーム新聞社社長		吉田 佳子 様

ご紹介した他、多くの皆様、有難うございました。 自衛隊家族会顧問 衆議院議員 中谷真一様、祝電を賜り、代理で上園様のご出席をいただき、有難うございました。

(2) 募集協力者会同

6月12日0900～1145の間、陸上幕僚監部主催の募集協力者会同に各県代表が参加しました。冒頭、陸上幕僚監部人事教育部募集・援護課長 巻口1佐のご挨拶に始まり、内局、陸・海・空各幕僚監部の施策の説明を受けたのち、自衛隊家族会を代表して札幌、神奈川県、兵庫県の順で「募集協力活動における創意工夫」をテーマに、現場の状況とそれ



をいかに打開して募集～入隊につなげてゆくかを発表しました。



質疑応答では、募集を困難にして

いる要因の一つに自衛官の募集種目が挙げられるのではないかと

等、活発に現場からの切実な意見が出され、具体的で有意義な会同でした。

(3) 家族会活動トピック

ア 6月3日、吉田広島県家族会長が、第48次派遣海賊対処行動水上部隊の呉出航を激励しました。



出航する「さみだれ」

それに先立つ5月12日、任務に就く護衛艦「さみだれ」(艦長：古賀2海佐)の乗員ご家族60名の方に呉地方総監部で実施した家族説明会時に、時間をとっていただき、自衛隊家族会の案内をしました。



説明する吉田会長

「隊員と家族をつなぐ」小冊子、県家族会が作成した意識調査表、県家族会の活動を紹介する写真、「おやばと」等を紹介して意識調査表の記入をお願いしたところ、既に入会済みの方や新たに入会したいとの記入もありました。古賀艦長をはじめ呉地方総監部の皆様のご配慮に感謝します。

無事に任務を果たされますようお祈り申し上げます。

イ 6月12日、増田家族会会長が、8月に迫ったオリンピックパリ大会出場選手激励のため、自衛隊体育学校を訪問しました。

七嶋体育学校長は、パリ大会出場選手への期待をこめつつ、選手要請の意義と担当する第2教育課の苦勞を話して下さいました。

出場予定選手は7名。「おやばと」6月号・7月号で詳細に紹介しておりますので、併せてご覧下さい。

22日には宮下副会長が壮行会で選手の皆さんを激励しました。



関口副校長

七嶋学校長

ウ 6月14日、青森市家族会は第5普通科連隊(青森)が担当する自衛官候補生課程教育の最終段階となる25km行進訓練を激励しました。

訓練には18名の自衛官候補生が挑み、青森市家族会の他、県内各地から朝早くから出発してきた候補生家族を含め33名が昼食地点で出迎えました。

候補生が近くまで前進している情報を受け、訓練している我が子を見る期待感と他の隊員に後れを取っていないかとの心配が交錯する中、事前に激励を知らされていなかった候補生が到着します。ぽったり親の歓迎拍手を受け、家族を見つけた候補生は急に姿勢が良くなり、凛々しい顔つきになりました。家族は成長ぶりを肌で感じていたようでした。



候補生は修了式を終えるとそれぞれ職種・勤務地へ分かれていきますが、18名の同期の絆を一生大切にしてほしいものです。

(6) 自衛隊家族会「問い合わせ窓口」の集計結果(月間報告)

ア 全般

6月の「問い合わせ」件数は、新規3件(いずれも分類I)でした。

① 自衛隊員の兄弟(妹)からの相談であり、自衛隊員の兄が癌患者である親を

入院の為か、妹の下から連れ出したまま音信不通であり、兄の所在を知りたい。また、今後の両親のケアについて相談したいとの相談でした。

メールによる相談であり、当初、相談者とのコンタクトにも時間が掛かりましたが、何とか連絡手段を確保し、自衛隊員の所属を特定、相談者から連絡する旨返答が有った以降、連絡が無くなり相談措置を終了しました。

- ② 自衛隊員の妻からの相談であり、夫のDV、不倫等の非道行為に対して、それを部隊に訴える為の連絡先等に対する匿名の相談でした。

相談内容は真実であれば苛烈であり、犯罪行為一歩手前というものであり、緊急的に奥さん・子供さんの身の安全確保と法的な支援の必要から『法テラス』等の連絡先をお教えしました。しかし、氏名・部隊名等全てが秘匿されていたので、本来要望された自衛隊部隊の連絡先を具体化する前に、相談者からの連絡が途絶え対応が終了となりました。

- ③ 新入隊員の母親からの相談であり、発達障害というハンディを背負っている子息の部隊での対応について、部隊側がそれへの理解が不十分で結果的にイジメやパワハラを受けているのではないかと、子息は自衛官の勤務を継続したい旨の意志を表明しているが親として勤務の継続を断念させるべきでないのかという相談でした。

子息から聞いた部隊での遣り取りや両親の自衛隊への認識等を聞き取り、部隊に事実確認と必要な対応を要望したところ、部隊側からの真摯な回答があり、一部対応の修正を実施したこと、現在は部隊内で相応に活動していることを母親にお知らせしました。自衛隊という職場の職の種類幅の広さ、そして様々な人々が部隊の現場で活躍している旨を説明し、子息が部隊での勤務継続の意志を示している以上、親としてご子息を応援して頂きたいことを要望したところ、不安が解消され子息を引き続き応援したいというご返答で相談を終了しました。

イ 集計結果（概要）

- 総件数：3件（分類Ⅰ：3件、分類Ⅱ：0件）
- 新再区分：新規2件
- 問い合わせ区分：分類Ⅰ：職場（人間）関係1件、家庭関係2件、生活関係0件、健康関係0件、その他0件)

ウ 今後の方向

「相談窓口」で対応する内容は、千差万別であり、心理カウンセラーや弁護士ではない相談員がその全てに対応できないことは当然であり、これまでもこの場で縷々報告してきたとおりです。

また、相談者の依頼内容、手段（電話、メール等）により実施できる対応内容に大きな差異が生じます。一方通行のメールのみの遣り取りの場合、相談内容の真偽の確認も被相談者としては十分できず、本当に相談者に寄り添えるのかという限界を感じます。

一方、相談者が電話で心情を吐露して頂ければ、お話を聞く「傾聴」のみあっても対応の意味が有ると理解しております。相談員としては、限られた手段と時間の中で、相談者、自衛隊部隊にとってより適切な方法を模索することに努めております。

1件目の相談は、音信不通状態である自衛隊員の兄との連絡を取りたいという相談でした。相談者の記憶等から3自衛隊の中のどれから始まり、部隊を特定するまでに対応の遣り取りが必要でした。一方で、部隊を特定して相談者に連絡して以降は返信もない状況でした。この様な場合、過去の例では、当問い合わせ窓口を興信所代わりに利用していた場合や、非相談者の自衛隊員自身の個人情報の保護の観点（相談者と連絡を取りたくないことも）も必要であったことから、相談者の人物像を話の遣り取りから慎重に確認し、場合によっては、相談を拒否、打ち切る場合も考えられます。当窓口は、性善説に基づき相談者の心情に寄り添うことを第一に考慮しますが、現実の対応には悩ましいことも有ります。

2件目の相談は、匿名のメールでの相談であり、法テラス、自衛隊の相談窓口、心理カウンセラー等の紹介以上の対応には至りませんでした。

相談者の相談内容を疎かにしたり、疑いを前提に対応することは決して有りませんが、相談はあくまで双方向の遣り取りの上での対応が前提であり、また、その先にある自衛隊部隊への繋ぎには、自衛隊家族会として対応する以上、厳しい勤務を実施している後輩隊員へ迷惑をお掛けできないことから、相談内容や依頼内容の確認が前提となります。したがって、一方通行の相談には、対応する側としても限界が有ります。

3件目の相談は、結果として相談者からも部隊からもお礼の言葉を頂きました。それまで、自衛隊に接する機会が無かった親御さんの場合、マスコミ等から得られる限定的な自衛隊像に自身の子息から発せられる言葉を重ね合わせ、自ら不安を作り上げてしまう場合が有ります。その様な行き違いを一つでも修正し、親御さん、自衛隊部隊が良い方向に行く様に、筆を指す役割ができればと思います。

なお、この相談窓口に来られる前に、日頃からご子息の勤務先への知識が得られ、同じ立場の自衛隊員家族相互の交流の場も提供できるということで、相談者が非家族会員の場合には、家族会入会の勧誘も最後に付言しております。

4 事務局からの連絡

(1) 新任会長・事務局長等研修会の予定

新たに各県家族会の会長・事務局長に就任された方々(以前研修を受けた方を除く)に、自衛隊家族会に係る理解を深めていただき、本部と県家族会との連携を密にして円滑に運営してゆくために「新任会長・事務局長等研修会」を10月9日(木)東京都新宿区戸塚地域センター(高田馬場)において実施する予定です。

該当の方及び該当の方が所属する県家族会長へは実施の細部を7月下旬にお知らせしますので、よろしくお願いします。

(2) オリンピックパリ大会出場選手は試合予定の早い順から次の通りです。

応援よろしくお願いします。(カッコ内は出身都道府県)

7月28～30日：ラグビー女子7人制：梶木選手(福岡県)

7月31日：柔道女子70kg級：新添選手(奈良県)

8月3日：柔道男女混合団体：新添選手

8月8日：レスリング男子フリースタイル86kg級予選～準決勝：石黒選手(東京都)

：オープンウォータースイミング女子10km決勝：蝦名選手(北海道)

：近代五種男子フェンシング：佐藤選手(青森県)

：近代五種女子フェンシング：内田選手(埼玉県)

8月9日：レスリング男子フリースタイル74kg級予選～準決勝：高谷選手(京都府)

：レスリング男子フリースタイル86kg級決勝：石黒選手

：近代五種男子準決勝：佐藤選手

8月10日：レスリング男子フリースタイル74kg級決勝：高谷選手

：近代五種男子決勝：佐藤選手

：近代五種女子準決勝：内田選手

8月11日：近代五種女子決勝：内田選手

以上

配布先

防衛省人事教育局長、文書課長、人材育成課長、厚生課長

統合幕僚監部総務部長、総務課長

陸上幕僚監部人事教育部長、募集・援護課長、同総括班長、厚生課長、家族支援班長

海上幕僚監部人事教育部長、人事計画課長、同募集推進室長、厚生課長

航空幕僚監部人事教育部長、厚生課長、厚生班長、募集・援護課長、募集・援護調整官、募集班長、

陸上総隊司令部総務部長、

各方面総監部人事部長、募集課長、厚生課長、各自衛隊地方協力本部長

各師団・旅団司令部幕僚長